

トピックス
Topics

東京2020オリンピック聖火リレー



長崎県美術館を
デザインした
建築家・隈研吾さん



長崎港内で聖火を運ぶ遣唐使船



聖火皿に聖火を点火したキャスター・草野仁さん(島原市出身)

5月7日と8日、東京2020オリンピック聖火リレーが長崎県内で実施され、1日目は南島原市から長崎市まで、2日目は長与町から佐世保市までというルートで聖火が運ばれました。

なかでも長崎市の長崎県庁から長崎水辺の森公園までの区間では、「遣唐使船」に聖火ランナーが乗船し、聖火を運びました。「遣唐使船」は悠久の時代から日中交流の懸け橋となり、東アジア圏、シルクロードを通じて遠くヨーロッパまで至る東西の文化交流に多大な貢献を果たした船です。今回は、公益財団法人 角川文化振興財団が2010年の中国・上海万博に合わせて復元した船が使用されました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、長崎市内では公道でのリレーの一部が取りやめになったほか、平和公園での「出発式」や長崎水辺の森公園での「セレブレーション」は無観客開催となりましたが、2日間、17の市と町を181人のランナーが聖火をつなぎました。

※各日の最終区間において聖火の到着を祝うイベント

お問い合わせ／長崎県スポーツ振興課 TEL.095-895-2781

長崎県 聖火リレー

検索

長崎県の最新情報はホームページをご覧ください <https://www.pref.nagasaki.jp/>